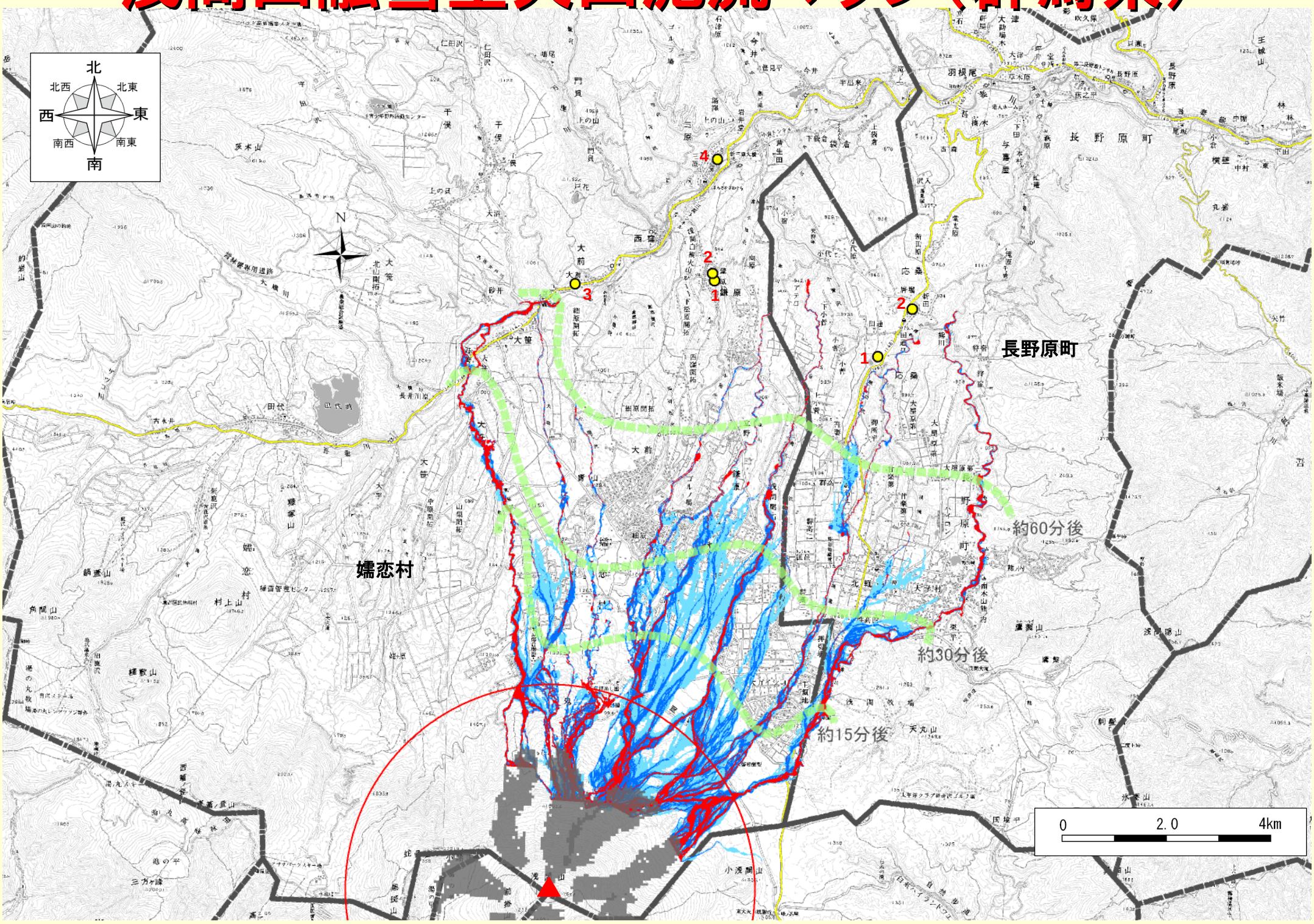
浅間山融雪型火山泥流マップ（群馬県）



【長野原町】

番号	施設名
1	長野原町立西中学校

番号	施設名
2	長野原町立応桑小学校

【嬬恋村】

番号	施設名
1	鎌原多目的センター

番号	施設名
2	鎌原公民館

番号	施設名
3	大前活性化センター

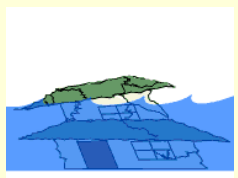
番号	施設名
4	嬬恋会館

【融雪泥流マップ数値シミュレーション計算条件】
- ●噴火の火砕流想定量27万m3
  （1958年11月10日噴火規模。明治以降最大規模）
- ●山腹積雪50cm （平年規模の積雪量）
- ●火口から4方向に流下した計算結果を重ね合わせた図であり、全方向に流れるとは限らない。

避難に備えての準備

避難のときの持ち出し品

ヘルメット、マスク、ゴーグル、衣類、水・非常食、常備薬、雨具・防寒具類、携帯ラジオ、現金・貴重品、通帳・印鑑・カード、毛布・タオル、電池・ライター、乳児用品、介護用品、救急用品、懐中電灯・ロウソク、その他

		ゾーン 床下浸水が想定される範囲	ゾーン 木造家屋の損壊と床上浸水が想定される範囲	ゾーン 木造家屋の半壊・全壊が想定される範囲
区分条件	家屋被害	なし	家屋損壊	家屋半壊・全壊 （建物は泥流の力に耐えられない）
	浸水被害	床下浸水	床上浸水（家屋1階浸水）	家屋2階浸水
	歩行避難への影響	歩行可能	歩行困難	歩行困難
避難行動	泥流が到達する前	高台等高所または丈夫な建物の2階以上に避難する	高台等高所または丈夫な建物の2階以上に避難する	高台等高所に避難する
	泥流が到達してしまっている場合		建物の2階以上に避難する （泥流が家を突き破って家の中に侵入してくる可能性があるため、泥流の反対側に避難する）	
被害イメージ				

融雪型火山泥流避難に関する心得

- ●沢筋や低地等危険度が大きい地域では、早めに避難する（自らの判断に基づく自主避難）
- ●危険箇所を通らず泥流の流れに直角に近くの高台等高所に避難をする。
- ●近くに高台等高所がない場合は、泥流の力に耐えうる丈夫な建物に避難する。
- ●屋外に泥流が到達している場合又は直ぐそばまで迫っている場合は、屋外には出ず建物の2階以上に避難する。

避難イメージ図

浅間山融雪型火山泥流

噴火警戒レベル4～5（融雪型火山泥流）

火砕流

火口から噴出した高温の岩塊、火山灰、軽石などが高温のガスと混合し、それらが一体となって地表を流走する現象。

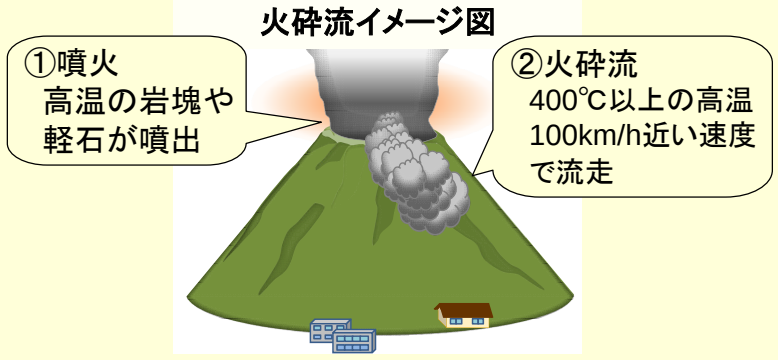
融雪型火山泥流

雪が浅間山山頂付近に積もっている時期に高温の火砕流なが発生すると雪が解け、土砂、火山灰等と一緒になって、斜面高速で流れ下る現象で、流れる泥流の速度は時速60kmにも達する。

その他の火山現象

地震・空振・噴石・火山灰・火山ガス・溶岩流・土石流　など

火砕流イメージ図



（積雪期）融雪型火山泥流イメージ図

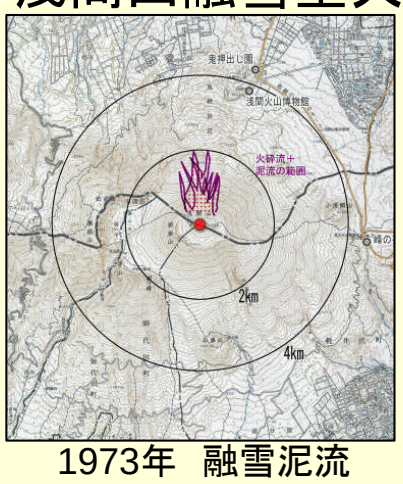
浅間山中規模噴火

1958年12月14日

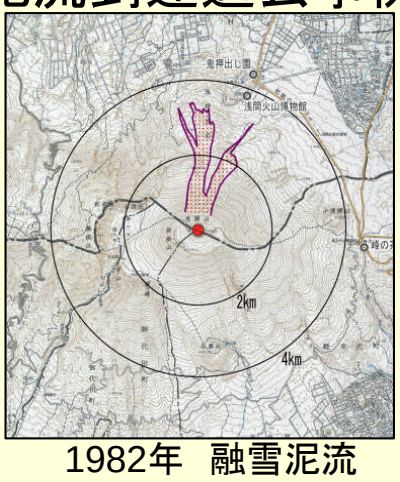
融雪型火山泥流

1926年5月十勝岳
中央防災会議資料（上富良野町提供）

浅間山融雪型火山泥流到達過去事例



1973年　融雪泥流
火口から約2kmに到達



1982年　融雪泥流
火口から約3.5kmに到達

浅間山の噴火警戒レベル表

予報警報	対象範囲	レベル（キーワード）	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5（避難）	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●天仁天明クラスの噴火発生、火砕流等が居住地域に到達 ●積雪期に中噴火に伴う火砕流が発生し、融雪型火山泥流が居住地域に到達、または到達すると考えられる
		4（避難準備）	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）。	警戒が必要な居住地域での避難準備、災害時要援護者の避難等が必要。	●中噴火が断続的に発生し、天仁天明クラスの噴火の発生が予想される ●噴火継続中の有感地震発生や顕著な地殻変動等により、天仁天明クラスの噴火の発生が予想される ●積雪期に中噴火が発生し、居住地域に影響する融雪型火山泥流の原因となる火砕流が発生した可能性がある
火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3（入山規制）	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。状況に応じて災害時要援護者の避難準備。 登山禁止・入山規制等危険な地域への立入規制等。	●山頂火口から中噴火が発生し、4km以内に噴石や火砕流が到達 ●中噴火が切迫している
	火口周辺	2（火口周辺規制）	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。 火口周辺への立入規制等。	●山頂火口から小噴火が発生し、2km以内に噴石や火砕流が到達 ●小噴火の発生が予想される
噴火予報	火口内等	1（平常）	火山活動は静穏。 火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	状況に応じて火口内への立入規制等。	●火山活動は静穏、状況により山頂火口から500m以内に影響する程度の噴出の可能性あり

このマップに関するお問い合わせ先
長野原町総務課総務グループ　電話：0279－82－2244
嬬恋村総務課地域安全係　電話：0279－96－0511

発　　行　浅間山火山防災対策連絡会議、嬬恋村、長野原町
写真提供　気象庁
資料提供　浅間山ハザードマップ検討委員会
協　　力　国土交通省利根川水系砂防事務所・群馬県・長野県

火山の異常をみつけたときの連絡先
気象庁浅間山火山防災連絡事務所　電話：0267－45－2167
気象庁火山監視・情報センター　電話：03－3211－7952

この地図は、国土地理院長の了承を得て、同院発行の数値地図50000（地図画像）を複製したものである。（承認番号　H23情複　第210号）